

通学路安全推進事業




取組地域：姫城地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：姫城地区まちづくり協議会
 事業費：1,276,880 円（基金活用額 1,276,000 円）
 問合せ：☎46-2603

課題・取組の概要

- 姫城地区は、3つの小中学校（姫城中・明道小・南小）があるが、市の中心地であり車の交通量も多い。
- 平成30年度の地域活性化事業において、姫城地区内3校周辺の通学路の電柱20本に「通学路注意」等の看板を設置して、通行車両に注意喚起を促し、子どもたちの交通事故防止や地域安全への取組を開始したが、電柱広告の掲出期間終了を迎えるに当たり、更新が必要となった。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 交通量が多いが、地域活性化のために、姫城地区の地域の宝である子ども達の登下校に対する「安心・安全」を守ることに貢献している。

今後の課題・アドバイス等

- 電柱広告の掲出期間は5年間のため、5年毎に更新する必要がある。

小松原地区可燃ゴミ集積所整備事業



取組地域：小松原地区

取組年度：令和4～6年度

事業主体：小松原地区まちづくり協議会

事業費：8,832,550 円（基金活用額 8,440,000 円）

問合せ：☎24-1900

課題・取組の概要

- 小松原地区内の可燃ゴミの路上集積所は 203 か所に上っている。
- カラス・猫によるゴミの散乱等、周辺的生活環境を良好に維持することが地域の課題となっていた。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和元年度：公民館長会で先進地視察（長崎県島原市）
- 令和4年度：市環境業務課・維持管理課と協議しながら、試作品を作成し、12 基（9 か所）に設置
利用者に、使用方法等のアンケート調査を実施
- 令和5年度：65 基（47 か所）設置
- 令和6年度：39 基（29 か所）設置

今後の課題・アドバイス等

- 利用者からは、生活環境の改善につながっており、設置箇所を増やして欲しいとの声がある。
- ゴミストッカーの保守契約等、今後の維持管理について明確にする必要がある。
- 台帳等の整備

妻ヶ丘地区環境整備支援事業



取組地域：妻ヶ丘地区

取組年度：令和5年度

事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会

事業費：2,053,000 円（基金活用額 2,053,000 円）

問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 地区住民の高齢化と人口減少に伴い、各自治公民館などで実施している公園等の草刈作業の実施に支障が生じていた。
- 除草作業の効率化と安全性の向上を図るため、乗用草刈機2台を導入するとともに、乗用草刈機の使えない樹木周辺の作業にも対応できるよう刈払機6台を配備

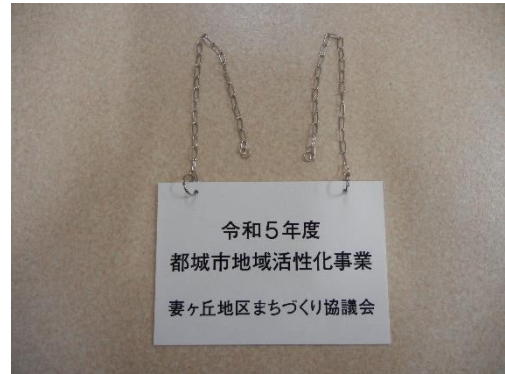
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 草刈機材の整備によって、各自治公民館などで実施している草刈作業の負担軽減と安全性の向上が図られることにより、地域の環境整備が推進された。
- 草刈機材の管理・運用が適切に実施できるよう要綱を制定し、予算は特別会計とした。

今後の課題・アドバイス等

- 今後は、機材の管理・運用をしながら、要綱や予算などの見直しを適宜行い、より適切な管理・運用の方法を検討していく必要がある。
- 更新費用についても検討が必要である。

妻ヶ丘地区自主防災対策等推進事業



取組地域：妻ヶ丘地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会
 事業費：4,014,450 円（基金活用額 4,014,000 円）
 問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 災害時における高齢者・障がい者といった避難行動要支援者や負傷者の搬送、救援物資や水などの運搬などへの対応により、自主防災力の充実を図る必要があった。
- 折りたたみ式リヤカー（担架付き）を各自治公民館へ1台ずつ配備

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 災害時の避難行動要支援者や負傷者等の搬送、救援物資・水などの運搬に活用できるほか、平常時には、地域の各種イベントにおける機材運搬や環境美化活動における刈草の搬出などにも活用
- 市議会総務委員会から「平常時からの活用が緊急時の活用につながることや、自治公民館の加入促進や自主防災組織の構築につなげること」との意見・要望があったことを受け、地域住民への周知と有効活用を図るためリヤカーに事業名入りのプレートを取り付けた。

今後の課題・アドバイス等

- 平常時から地域の環境整備や各種イベント等に活用することで災害などの緊急時にも活用できるようにしていきたい。また、地域の皆さんに見える形でリヤカーを有効活用することで、自治公民館の加入促進や自主防災組織の構築にもつなげたい。

環境整備支援事業



取組地域：妻ヶ丘地区
取組年度：令和6年度
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会
事業費：266,000 円（基金活用額 266,000 円）
問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- 各自治公民館が実施している公園等の草刈作業の効率化や負担軽減のため、令和5年度に乗用モア等草刈機材を購入したが、乗用モアについて維持管理、清掃整備が必要になったため、作業前、作業後にブロワーによる清掃作業を実施することにしたもの。
- 刈った草を効率よく集めるために集草機を活用し、作業時間の短縮と作業の効率化を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ブロワーを2台購入し、乗用モアを使用する際はセットでの貸出しを行い、乗用モアの清掃及び後始末をしてもらう。
- 必要があれば単体でも貸し出し、作業効率をあげる。
- 自治公民館、壮青年部や高齢者クラブが地区内の公園等の草刈りを請け負っており、機器の貸出しにより、労力と時間の削減が図られ、参加者の負担軽減に寄与している。

今後の課題・アドバイス等

- 集草機については、効率性がどれくらい向上するのか不明であったため、今回1台の購入にとどめた。今後1年間の使用頻度をみて追加購入を検討する。

妻ヶ丘地区環境整備支援事業



取組地域：妻ヶ丘地区
 取組年度：令和6年度
 事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会
 事業費：2,881,306 円（基金活用額 2,881,306 円）
 問合せ：☎23-8592

課題・取組の概要

- まちづくり協議会の備品を収納している倉庫が古くなったため、地区公民館建て替えに合わせて撤去し、新たな倉庫を設置する必要がある。
- 令和5年度に購入した乗用モアや刈払機などの備品や資材等を収納するため、これまでより広いスペースが要る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 品物を整理して、効率よく収納できるように、また取り出せるように棚を製作し、会員の利用を促進する。
- まち協所有の機材や資材だけでなく、まち協傘下の団体の機材等も収納し、出し入れの利便性を図る。

今後の課題・アドバイス等

- 雨天等の機材取り出しのため、今後照明設備は必要である。
- シャッターの開閉については、鍵式ではなく暗証番号式が好ましい。

祝吉地区防災対策環境整備事業



取組地域：祝吉地区
取組年度：令和6年度
事業主体：祝吉地区まちづくり協議会
事業費：2,230,410 円（基金活用額 2,183,000 円）
問合せ：☎23-2890

課題・取組の概要

- 近年、大型台風や大地震による災害が各地で頻発している。
- 災害が発生した場合、各種インフラが寸断され、電気や水道など生活に必要な不可欠なものが失われる恐れがある。
- 日常生活を営む上で最低限必要な電気が停電した場合に備え、発電機等を常備し、緊急時に対応する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 祝吉地区内の自治公民館18か所及び地区公民館の合計19か所に発電機を購入し配置した。
- 発電機を常備することにより、情報収集に欠かせないテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォン、夜間の照明等を継続して利用できる。
- 発電機を使用するために必要なエンジンオイルやガソリン携行缶、電源コードリールも併せて購入した。
- 災害時に火災が発生した場合に備えて、初期消火のための消火器も設置した。

今後の課題・アドバイス等

- 夏の災害時に、直ちに発電機を使用できるよう備えておく必要がある。そのため、発電機にオイルを充てんし日頃から試運転を定期的に行う事が望まれる。
- 発電機運転に必要な不可欠なガソリンを常備しておく必要がある。

子どもの見守り活動充実事業



取組地域：五十市地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：五十市地区まちづくり協議会
 事業費：735,000 円（基金活用額 735,000 円）
 問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

○児童・生徒は地域で見守り、育もうという「環境防犯部会」のスローガンのもと、登校の際に横断歩道等で「あいさつ」とともに児童・生徒の安全を確保するもの。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○毎年、まち協で行う「学校訪問」において、各学校長からお礼の言葉をいただき、各校との連携強化につながっている。

今後の課題・アドバイス等

○今後もさらに見守り箇所を増やして、児童・生徒の安全に努める。

防災福祉マップ作成事業



取組地域：五十市地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：五十市地区まちづくり協議会
 事業費：149,000 円（基金活用額 149,000 円）
 問合せ：☎23-2184

課題・取組の概要

○防災マップ及び福祉マップを平成13年に作成しており、現状との相違が随所に見受けられるようになっているため、今回見直しを行い、現状に合わせ1枚に統合して防災福祉マップとしてリメイクする。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○管内の学校、福祉施設等に配布したところ、非常に重宝しているとの声をいただいている。

今後の課題・アドバイス等

○今後、5年程度のスパンで更新が必要である。
 ○地区住民に対してマップを使って、避難訓練等を計画したい。

安心安全な横市まちづくり事業



取組地域：横市地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：横市地区まちづくり協議会
 事業費：1,147,290 円（基金活用額 1,123,320 円）
 問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 子どもに対する声掛け事案が発生していた。
- 不審火が何回も発生した事案もある。
- 防犯カメラを設置することにより、犯罪を抑止し、安全安心な横市にする。
- 西小学校、明和小学校及び不審火のある住宅街3か所に設置

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 校庭内に設置するため、学校、教育委員会の承諾
- 近隣住民への周知
- 防犯カメラ映像データの利用に関する基準の作成
- 警察署と防犯カメラの映像提供に関する協定書の締結

今後の課題・アドバイス等

- 緊急時（警察からの依頼等）に対応できる組織体制の構築
- 運用に要する経費を考慮した機器の選択（電気代は一体型が安価）
- 機器更新時の経費

横市地区防災支援事業



取組地域：横市地区
取組年度：令和4年度
事業主体：横市地区まちづくり協議会
事業費：1,954,920 円（基金活用額 1,905,620 円）
問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 災害時に集会用テント（通常のテント）を組み立てるのは困難であるが、少人数でも組立てられるワンタッチ組立テントを有している自治公民館はない。
- 横市地区には広域的に避難情報等を周知できる設備がない。
- 簡易テント及び車載広報拡声器を各自治公民館に配備する。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- テントについては、災害時の初期に少人数しか動けないことを想定しており、軽く簡易なものを選定した。
- 広報拡声器については、自動車があればすぐ使える車載広報拡声器とした。
- テントについては、地区の行事でも使える。
- 広報拡声器については、災害以外の広報にも使える。

今後の課題・アドバイス等

- これからは防災訓練で実際に使用する等の訓練を行い、災害の際に活用できる体制を作る必要がある。

花でふれあう心のまちづくり事業



取組地域：横市地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：横市地区まちづくり協議会
 事業費：431,780 円（基金活用額 429,000 円）
 問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 横市地区内の各種施設等に花の苗を配布する。
- 横市地区まつりにおいて、来場者にビオラ苗を無料配布する。
- 横市地区を花がいっぱいな地域にするとともに、横市地区の環境意識の向上を図る。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 横市地区の各種施設から大変喜ばれている。施設内の環境美化はもちろん、施設利用者の環境意識の向上に寄与している。
- 地区まつりでの花の苗配布は大変好評で、たくさんの人が来場された。環境美化とまつりのにぎやかさの創造にも役立っている。

今後の課題・アドバイス等

- 継続したい事業ではあるが、経費がかさむため、事業を縮小して継続していきたい。

地域安全パトロール隊消耗品整備事業



取組地域：横市地区
 取組年度：令和6年度
 事業主体：横市地区まちづくり協議会
 事業費：66,113円(基金活用額 51,504円)
 問合せ：☎25-2257

課題・取組の概要

- 地域安全パトロール隊のレインコートは劣化のため雨の染込みが生じて、パトロール隊員が苦慮している。
- レインコートの補充を行う。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 用具は西小・明和小校区の安全パトロール隊が、登校見守りで使用している。
- 横市地区社会福祉協議会に保管及び地域安全パトロール隊への配付を依頼

今後の課題・アドバイス等

- ボランティア活動や地域安全活動等で用具の有効活用を図る。
- 消耗品のため、適宜、補充する必要があるが、確保された財源はない。

子ども見守り隊活動充実事業



取組地域：沖水地区
 取組年度：令和3年度
 事業主体：“住みよいまち沖水”協議会
 事業費：1,767,920 円（基金活用額 1,767,150 円）
 問合せ：☎ 38-1033

課題・取組の概要

- 各自治公民館で子ども見守り隊を組織し、登下校時の子どもたちの「安全・安心」を見守っているが、横断旗を除いて貸与しているベスト等の傷みや汚れにより、新規隊員へ貸与できなくなっている。
- 新たに、帽子とベストをそれぞれ 120 枚、ブルゾンとレインウェアをそれぞれ 150 枚購入した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- ベスト等を着用することで車両運転者や歩行者へ交通安全の啓発につながり、見守り活動も安心して対応できる。
- 改めて見守り隊員を調査し、活動している 127 人へ防寒用ブルゾンとレインウェアを貸与し、残りは予備、新規隊員用とした。ベストと帽子は新規隊員と交換が必要な隊員に貸与することとした。

今後の課題・アドバイス等

- 消耗品であり、更新や補充に費用が必要となる。
- 地域によっては高齢等により見守り活動ができない人が増えつつあり、見守り隊員として人材の確保も課題となっている。

防災対策環境整備事業



取組地域：沖水地区
 取組年度：令和3年度
 事業主体：“住みよいまち沖水”協議会
 事業費：279,180 円（基金活用額 279,180 円）
 問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 各自治公民館に常備している防災用ヘルメットが老朽化し、耐用年数を経過していた。
- 令和2年度に防災用ヘルメットを120個購入し、各自治公民館に10個ずつ配備したが、役員数に対する不足があり、購入要望があったため、令和3年度に更に120個購入し、各自治公民館に10個ずつ配備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 防災意識の向上
- ヘルメットは各自治公民館で管理し災害時に活用する。
- 地域住民の高齢化により、今後も安全確保の避難時に誘導し、支える方に対して、ヘルメットが必要になる。

今後の課題・アドバイス等

- 耐用年数を考慮して、適切な時期に更新できるように財源確保を検討する必要がある。
- 耐用年数が経過したヘルメットの対応と未利用時でもヘルメット交換は必要なのかを十分検討する必要がある。

防災対策環境整備事業



取組地域：沖水地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：“住みよいまち沖水”協議会
 事業費：3,822,324 円（基金活用額 3,822,324 円）
 問合せ：☎38-1033

課題・取組の概要

- 近年発生している自然災害や非常時における地域住民の安全安心を確保する必要がある。
- 各自治公民館に発電機1台、LEDライト2台、ドラム式延長コード2個、ガソリン携行缶1個の防災資機材を12地区の自治公民館に配備した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 防災資機材を12地区の自治公民館に配置したことで、災害時における地域住民の安全安心を確保することができた。
- 防災意識の向上につながった。
- 配備した防災資機材は、各自治公民館で維持管理する。

今後の課題・アドバイス等

- それぞれの自治公民館で防災資機材を活用した防災訓練や災害時における住民間の共助の体制構築が必要となる。
- 防災資器材の定期的な維持点検管理が必要となる。

有害鳥獣対策事業



取組地域：庄内地区
取組年度：令和3～6年度
事業主体：庄内地区まちづくり協議会
事業費：426,700円（基金活用額 426,020円）
問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

- 本事業は平成30年度から継続事業として、田畑に被害を与えたり通学路に出没しているイノシシ・シカを駆除するため、地域住民の有志者が捕獲班を結成したり、罠猟免許を取得し、囲い罠及びくくり罠での捕獲に取り組んでいる。
- 近年限定的だったイノシシの出没地域が住宅地へも拡大し、民家の庭先まで出没してきている状況にある。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和3年度に追加購入した囲い罠は、住宅地にも設置しやすいコンパクトサイズで利便性が高い。
- 事業開始から令和7年3月31日までの捕獲数はイノシシ73頭、シカ8頭である。

今後の課題・アドバイス等

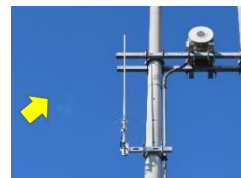
- 本事業を継続して推進するため、引き続き施設賠償責任保険に加入するものである。
- 今後も、整備した罠等を有効活用し、住民が安心して暮らせる環境づくりを推進していく。

防災対策環境整備事業



整備した防災資機材

取組地域：庄内地区
 取組年度：令和5～6年度
 事業主体：庄内地区まちづくり協議会
 事業費：6,931,419円（基金活用額 6,930,000円）
 問合せ：☎37-3488



サイレン塔に設置したアンテナ

課題・取組の概要

- 令和2年度に整備した初期救助支援用品、避難所運営支援用備品等に加え、令和5年度に各公民館の自主防災隊の活動に必要な防災資機材の整備を行い、令和6年度には大規模災害に備え、発災時の一時的な避難所として、各自治公民館及び分館の防災体制を充実させるべく、必要な防災資機材を整備し、地域の防災体制の拡充を図った。
- また令和6年度には、各自治公民館自主防災隊の活動に必要な無線機が円滑に交信できるよう、庄内地区公民館敷地内サイレン塔にアンテナを設置し、被害や避難状況の情報共有が図れる環境を構築した。

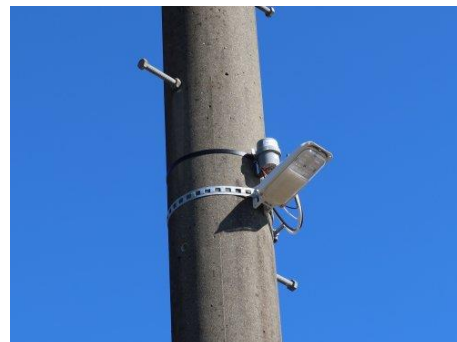
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 自然災害により家屋倒壊や道路封鎖等を想定し、人命救助や復旧活動に必要な資機材を整備した。また、防災用無線機及びアンテナの整備により、地域で発生している情報の共有化が図れる体制を図った。
- 各自治公民館に必要な資機材を整備するが、以後の資機材等の管理は自治公民館が主体となっていく。

今後の課題・アドバイス等

- 防災用無線機を含む防災資機材については、防災訓練等をはじめとする地域行事等でも広く活用し、普段から使い慣らすことで、発災時に問題なく使えるようにしておく。

防犯灯整備事業



取組地域：庄内地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：庄内地区まちづくり協議会
 事業費：330,000 円（基金活用額 330,000 円）
 問合せ：☎37-3488

課題・取組の概要

○地区内の中学生・高校生が利用する通学路で街灯がなく人家が少ない区域に、防犯と交通安全対策のため街灯を設置した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 街灯設置が必要な箇所を自治公民館ごとに調査し、5自治公民館内に23基の街灯を設置した。
- 設置後の維持管理費については、隣接する自治公民館間で協議・調整を行った。

今後の課題・アドバイス等

- 街灯設置後の維持管理費については、各自治公民館が負担することや隣接する自治公民館で費用負担を協議して決めることを周知して取組むと調整がスムーズとなる。また、この取決めの手法を記録に残し、引継いでいく必要がある。

有害鳥獣対策事業



取組地域：西岳地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：西岳地区まちづくり協議会
 事業費：355,300 円（基金活用額 352,000 円）
 問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区は山林が近くに存在するため、イノシシ・シカが田畑や住宅近郊に多数出没し、田畑被害及び通学路の安全が確保できない状況となっている。
- 西岳地区の2つの猟友会（西岳猟友会、夏尾猟友会）にまちづくり協議会で購入したくくり罠 38 セットを貸与し、イノシシ・シカを多数捕獲し西岳地区の安全及び生活環境の充実を図った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 西岳地区猟友会と意見交換を行い、使いやすく、修繕対応もし易いくくり罠の選定を行った。
- どの猟友会メンバーに何セットずつ配布するかを自治公民館長及び猟友会で検討した。

今後の課題・アドバイス等

- くくり罠の貸出簿を整理して貸し出すことと、丁寧に扱ってもらい修理もお願いしていくことが長期的使用のためには大事である。
- 西岳地区の超高齢化に伴い、今後の猟友会メンバー確保が問題となっている。

西岳地区生活道路環境整備事業



取組地域：西岳地区

取組年度：令和5～6年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：2,644,431 円（基金活用額 2,557,500 円）

問合せ：☎33-2000

課題・取組の概要

- 西岳地区では集落と集落を結ぶ市道・生活道の延長距離が長く、市役所の管理だけでは行き届かない箇所も多く存在している。そのため、山間部においては山側からの迫り出した木々が支障となり道路も暗く、また、枯れ枝葉の堆積により通学・通勤に不安が生じている状況である。
- 本事業により今後も西岳地区の人々が安心して地区間交流ができるように自治公民館有志による道路整備もしくは委託業者との連携による道路整備を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館の事情により、道路整備の優先順位をつけることに時間を要した。
- 人件費、機械リース代等の統一単価決定が重要ポイントの1つとなる。

今後の課題・アドバイス等

- 自治公民館長を中心に道路整備メンバーを集めることが一番重要である。
- 雑木伐採の地権者協議は大勢で検討していく。

非常用携帯無線整備事業



取組地域：山之口地区
 取組年度：令和3年度
 事業主体：山之口地区まちづくり協議会
 事業費：375,320 円（基金活用額 375,500 円）
 問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

- 都城市に配備されている地域振興無線は基地局経由となるため、青井岳・永野地区など山間地域は通信状況が悪く、難聴地区となっており、連絡体制の強化を図る必要があった。
- 非常用携帯無線機を 10 台購入し、消防団に貸出を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 無線端末で直接通信を行える機器を導入し、通信を補えない地域の連絡体制を整備した。
- 非常用携帯無線機を 10 台購入し、消防団に貸出を行っている。
- 難聴地区だけではなく、各地域公民館長に貸出を行えるように体制を整えた。

今後の課題・アドバイス等

- 機材の管理を確実に継続的に行うことが重要となる。

山之口地区交通安全・子ども見守り隊啓発のぼり旗作製事業



取組地域：山之口地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：山之口地区まちづくり協議会
 事業費：253,000 円（基金活用額 195,000 円）
 問合せ：☎57-3114

課題・取組の概要

○市民及び児童・生徒を交通事故から守るため、沿道や登下校時の通学路等にのぼり旗を設置し、地区内の交通安全協会並びに子ども見守り隊の啓発のためののぼり旗を作製

成果・事業の特徴・工夫したこと

○まちづくり協議会のロゴマーク、山之口のイメージキャラクターを入れて、二種類ののぼり旗の作製を行った。

今後の課題・アドバイス等

○設置に当たっては、都城地区交通安全協会山之口支部及び各小学校子ども見守り隊と連携して実施する。
 ○管理はまちづくり協議会で行う。経年劣化のため定期的な更新、補充が必要となる。

高城地域環境整備支援事業



取組地域：高城地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：高城地区まちづくり協議会
 事業費：1,248,170 円（基金活用額 1,248,000 円）
 問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

○高齢化や人口減少によりPTA活動や地域の公民館活動における清掃作業に支障がでてい
 る。乗用草刈機を整備することで、作業の安全性を確保し、効率的に作業を進めることが
 できる。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 整備した乗用草刈機は、高城地区まちづくり協議会が管理を行い、高城地区内の自治公民館、PTA等に貸与していく。
- また、機械を大切に使用していただくために「乗用草刈機貸出要綱」や乗用草刈機安全のポイント」を作成した。
- 年1回は、販売業者に定期点検を依頼する。

今後の課題・アドバイス等

- 乗用草刈機は、使用者が燃料を満タンにして返却していただき、無料で貸し出すことにしている。維持管理費用はまち協で負担することになっているが、修理費用が高額になったときの負担について、検討する必要がある。

高城地区見守り隊支援事業



取組地域：高城地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：高城地区青少年育成連絡協議会
 事業費：277,200 円（基金活用額 277,000 円）
 問合せ：☎58-2303

課題・取組の概要

- 高城地区の見守り隊は、高城、石山、有水の3地区の小学校、自治公民館長、民生児童委員、高齢者クラブ会員等が中心になり、児童生徒の毎日の登下校時の見守り活動を1年間通して実施している。
- 見守り隊は、安心安全な明るいまちづくりに積極的に参加しており、この活動を支援することを目的としている。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 統一したベストを整備することで、通行車両等に見守り隊が活動していることを周知することができた。

今後の課題・アドバイス等

- 見守り隊には任期がなく、ベスト等は貸与としているが、消耗品であるので、更新するタイミングと財源を考慮しなければならない。

災害時用食事提供資機材整備等事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和4年度

事業主体：都城市食生活改善推進員連絡協議会 高城地区

事業費：368,280 円（基金活用額 368,000 円）

問合せ：☎59-9306

課題・取組の概要

○被災者への食事提供を迅速に行うために移動カマドやアルファ米等の資機材等を整備し、地震や水害などによる大規模災害等に備えた体制を構築した。

成果・事業の特徴・工夫したこと

○避難所では、被災者等への食事の提供に際し、「栄養補給」「衛生管理」「心のケア」「アレルギー体質など食事配慮が必要な人へのケア」に留意しなければならない。災害時のニーズは、時間の経過とともに変化していくが、避難生活を少しでも元気に過ごしていただくために食に関する資機材等の整備を進めた。

今後の課題・アドバイス等

○整備完了後は、高城地区の防災研修会等に参加し、屋外での炊き出し訓練を実施し、大規模災害等に備える必要がある。

高城地区交通安全啓発推進事業



取組地域：高城地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：都城地区交通安全協会高城支部
 事業費：181,500 円（基金活用額 181,000 円）
 問合せ：☎58-4172

課題・取組の概要

- 都城地区交通安全協会高城支部には、7班があり、交通安全運動期間中は、街頭啓発やのぼり旗を掲揚し、積極的に交通安全啓発の活動を行っている。
- 高城支部では、啓発用ののぼり旗を毎年、各班に数枚配布しているが、老朽化しているものが多い。
- 今回、啓発用ののぼり旗を整備することで、運転者及び歩行者の交通安全意識の向上を図り、今後の活動を効果的なものにしていく。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- のぼり旗を整備し、交通安全啓発を推進することにより、安心して生活できる環境をつくり、地域の交通安全意識の向上を図ることができる。

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗は、交通安全期間に国・県・市道沿いに啓発用として掲揚しているが、雨ざらしであり、消耗品であるので、更新するタイミングと財源を考慮しなければならない。

高城地区自主防災隊資機材整備事業



取組地域：高城地区

取組年度：令和5年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：1,064,260 円（基金活用額 1,064,000 円）

問合せ：☎58-2317

課題・取組の概要

- 高城地区では、自主防災隊の資機材点検や資機材を活用した訓練を毎年、開催している。今後は、安全な場所への避難など、災害時に行動の支援を要する要配慮者を対象とする訓練の開催を計画しており、次の資機材を整備する。
- 要配慮者の生命及び身体を守るために車いす利用者の避難を手助けできる器具「着脱式車いすの緊急避難装置」と災害時の緊急避難等に活用できる「アルミ製折りたたみ式リヤカー」を整備する。集落では、高齢化や人口流出により過疎化が進み、自主防災隊と消防団との連携した活動は、欠かせないものとなっているので、資機材の整備を消防団8部及び1福祉避難所（高城生涯学習センター）の9か所とする。
- なお、整備する資機材の通常の管理は、消防団各部の設置先である自主防災隊とする。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 本事業で資機材を整備することにより、災害時等の非常時に要支援者の迅速かつ的確な支援が実施でき、防災力の向上を図ることができる。

今後の課題・アドバイス等

- 地域のイベント等を活用し、災害時の緊急時にも活用できるように操作について定期的な訓練を実施する必要がある。

山田地区地域一体あいさつ&見守り活動啓発推進事業



取組地域：山田地区
 取組年度：令和4年度
 事業主体：山田地区まちづくり協議会
 事業費：303,694 円（基金活用額 300,000 円）
 問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 「山田中との交流会」事業において、生徒からの標語募集事業の提案を反映した事業
- 啓発事業
 - ・あいさつ・見守り・通学路安全にちなんだ標語を住民や児童・生徒から募集
 - ・募集された標語を審査し、優秀作品を表彰（3部門 最優秀賞、優秀賞、入選）
- 推進事業
 - ・優秀作品となった標語を掲載したのぼり旗を製作し、今後の活動などで啓発に使用
 - ・各団体の見守り活動を地域住民一体で実施できるようなのぼり旗を掲揚して事業に活用

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 備品制作
 - 1 のぼり旗 計120本 2 ポスター すべての入選作品を掲示
 - 3 短冊 各部門の最優秀賞、優秀賞を1点ずつ掲載 計9種類作成

今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗の生地が薄く、耐久性に問題あり
- 2学期、3学期のみ実施しているが、1学期実施の検討（委員が交代しているため）

山田地区環境整備事業



取組地域：山田地区
 取組年度：令和6年度
 事業主体：山田地区まちづくり協議会
 事業費：321,915 円（基金活用額 320,000 円）
 問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 地区内の駅周辺や商店街、道路等の環境美化及び整備に取り組んでいる団体を支援することで、活動の活性化を図る。
- 小学生から高齢者までの幅広い方に参加してもらい、活動への参加意識を高め、活動を通じて交流を深め、人と人との連帯を育む。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 団体に対し、花の苗やプランター等を配付し、取り組みを支援することで活動の活性化を図る。
- 6団体の応募者に対して培養土、プランター、花の苗、一輪車、園芸用品などの購入支援
- 周知期間が短かった。

今後の課題・アドバイス等

- 事業の着手が遅く、季節が冬になり、植栽できる花が限定的になった。
- 先着順に許可したため、予算超過後の応募に対応できず、次年度への課題になった。

山田地区有害鳥獣対策事業



取組地域：山田地区
 取組年度：令和6年度
 事業主体：山田地区まちづくり協議会
 事業費：340,000 円（基金活用額 340,000 円）
 問合せ：☎64-1121

課題・取組の概要

- 近年山田地区内において、イノシシが生息し、田畑の作物に被害を与えるのみならず、通学路近くに出没したケースもあり、大変危険である。
- くくり罠を購入した後、猟友会に貸与し、設置することにより、イノシシ、シカ等から田畑の被害や通学路の安全を確保して地区の安全及び生活環境の維持充実に図る。
- イノシシ等捕獲のためのくくり罠を 38 セット購入し、地区猟友会メンバーでわな免許を持っている方に配布

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 該当区域内の有害鳥獣（イノシシ、シカ等）を捕獲・駆除する。
- 当年度の捕獲状況：イノシシ（8 頭）、シカ（14 頭）
- 農作物への被害軽減及び児童・生徒、高齢者等の身の安全が確保でき、地元及び猟友会から喜びの声が上がっている。

今後の課題・アドバイス等

- くくり罠設置場所の住民への説明。罠の表示が小さいため、住民が怪我をする恐れがある。
- くくり罠の維持管理

高崎地区見守り活動充実事業



取組地域：高崎地区
 取組年度：令和5年度
 事業主体：高崎地区まちづくり協議会
 事業費：1,100,505 円（基金活用額 1,100,505 円）
 問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎地区内小中学校6校では、登下校時、PTAや地区のボランティア等による学校ごとの見守り活動を実施している。
- 統一したジャンパーや帽子等を着用することで、従事者の自覚と安全確保を図るとともに、児童・生徒も安心して接することができる。
- ジャンパー、ベスト、帽子をそれぞれ65枚、交通安全旗（指導旗）を90本購入。

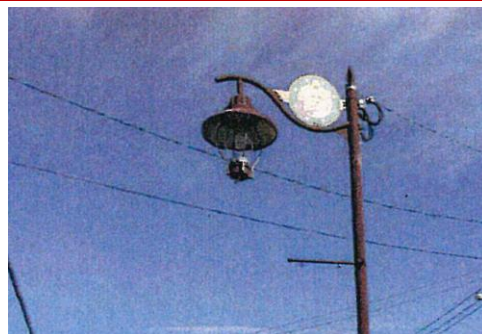
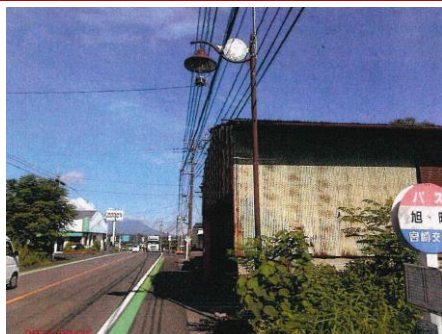
成果・事業の特徴・工夫したこと

- 統一したジャンパーや帽子等を着用し、交通安全旗（指導旗）を使用することで、従事者の自覚と安全確保が図られ、児童・生徒も安心して接することができる。
- 地区住民や通行するドライバー等への交通安全の啓発につながる。
- 活動場所等は各小中学校と協議し、それぞれの団体や個々の主体性を尊重し取り組む。

今後の課題・アドバイス等

- 購入後の維持管理、更新時の費用等については、各団体等で負担する必要がある。

高崎地区街路灯 LED 電球更新事業



取組地域：高崎地区

取組年度：令和6年度

事業主体：高崎町商工会

事業費：2,455,643 円（基金活用額 2,440,000 円）

問合せ：☎62-1114

課題・取組の概要

- 高崎町商工会が管理している街路灯は、商店街の活性化を図る一方で、町民の防犯・交通安全対策上も必要不可欠なものである。
- 現在の街路灯は平成21年度に設置したもので、既に電球が切れているところもあり早急にLED電球の交換を行う必要があった。
- 商工会が管理している街路灯のうち、優先順位の高い32基のLED電球更新を行った。

成果・事業の特徴・工夫したこと

- 現在のLED電球は既に製造中止されていたため、ソケット付台座の交換を行った上でのLED電球交換を行った。
- 従来の電球と比較して非常に明るくなり、夜間における防犯対策、交通安全対策に寄与している。

今後の課題・アドバイス等

- 交換の必要な街路灯が32基残っており、計画的に更新を行う必要がある。